

【公表】 事業所における自己評価結果（児童発達支援事業）

事業所名		OZデイみずまき					公表日	2025年3月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	できていない日もある。	やむを得ない事情により休みが発生した場合や学校の下校時間等により、大変な場合もありますが、今後も必要な時間帯に必要なスタッフが配置できるよう努力していきたいと思えます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0				
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0		今後も各職員が参加しやすいよう、情報共有等を通じて業務改善を行います。		
	5	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0		第三者による外部評価は行っていませんが、連携事業所の方に月に1度事業所の様子を見て頂いています。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1		2025年4月から研修規程を作成し、研修受講の支援や認定資格を取得した際の給与への反映等、スキルアップの支援を行います。		
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0		行っていますが、そのプロセスが見えにくいかもしれないので、個々の子どもの計画書の概要をまとめたものを見やすい場所に設置し、スタッフ全員の個別支援計画への理解を促します。		
	9	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0				
	10	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0				
	11	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0				
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0		個々の子ども達のスケジュールも考慮しながら、スタッフの意見を幅広く取り入れて活動計画の立案に努めます。		
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0				
	14	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		LINEワークスを用いて出勤していない職員にも支援状況を共有する仕組みを作っています。		
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		”		
18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0					
	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0				
	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0				
	21	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		来年度から情報共有シートを作成し、関係機関との情報共有と相互理解を進めていきます。		

関係機関や保護者との連携	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		必要な場合には速やかに対応します。
	23	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	0		地域の協議会の活動への参加機会があれば積極的に参加しようと思います。昨年は遠賀中間地域の医療的ケア児の部会に参加しました。
	24	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0		遠賀圏域には児童発達支援センターはありませんが、北九州市立療育センター等とは必要に応じて連携を取っています。
	25	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	0		保育所との交流についてはスケジュールの関係でなかなか交流が難しいのが現状のため、子どもたちやご家族のニーズも伺いながら、外出等で地域の子ども達と関わる機会を設けていこうと思います。
	26	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	2		送迎時等に伝え合っていますが、今後は定期的な面談も交えながら共通理解を進めていきたいと思っています。
	27	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0		
	28	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		利用契約時等にお伝えをしていますが、今後はスタッフへの周知に努めていきます。
保護者への説明等	29	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえてこどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0		ランチ会や他の企画を開催してご家族の皆様が交流できる機会を設けていきます。
	32	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		苦情の体制等は整備しているため、苦情が発生した場合には今後も引き続き迅速かつ適切に対応するとともに、スタッフへの周知を進めていきます。
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
非常時等の対応	36	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0		
	37	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		事業所内のマニュアルの設置場所及び災害等に対する避難訓練の計画や実績等のスタッフへの周知を進めていきます。
	38	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	40	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	41	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		ヒヤリハットが発生した場合には記録と検討を行っているため、それらのスタッフへの周知を進めていきます。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0			